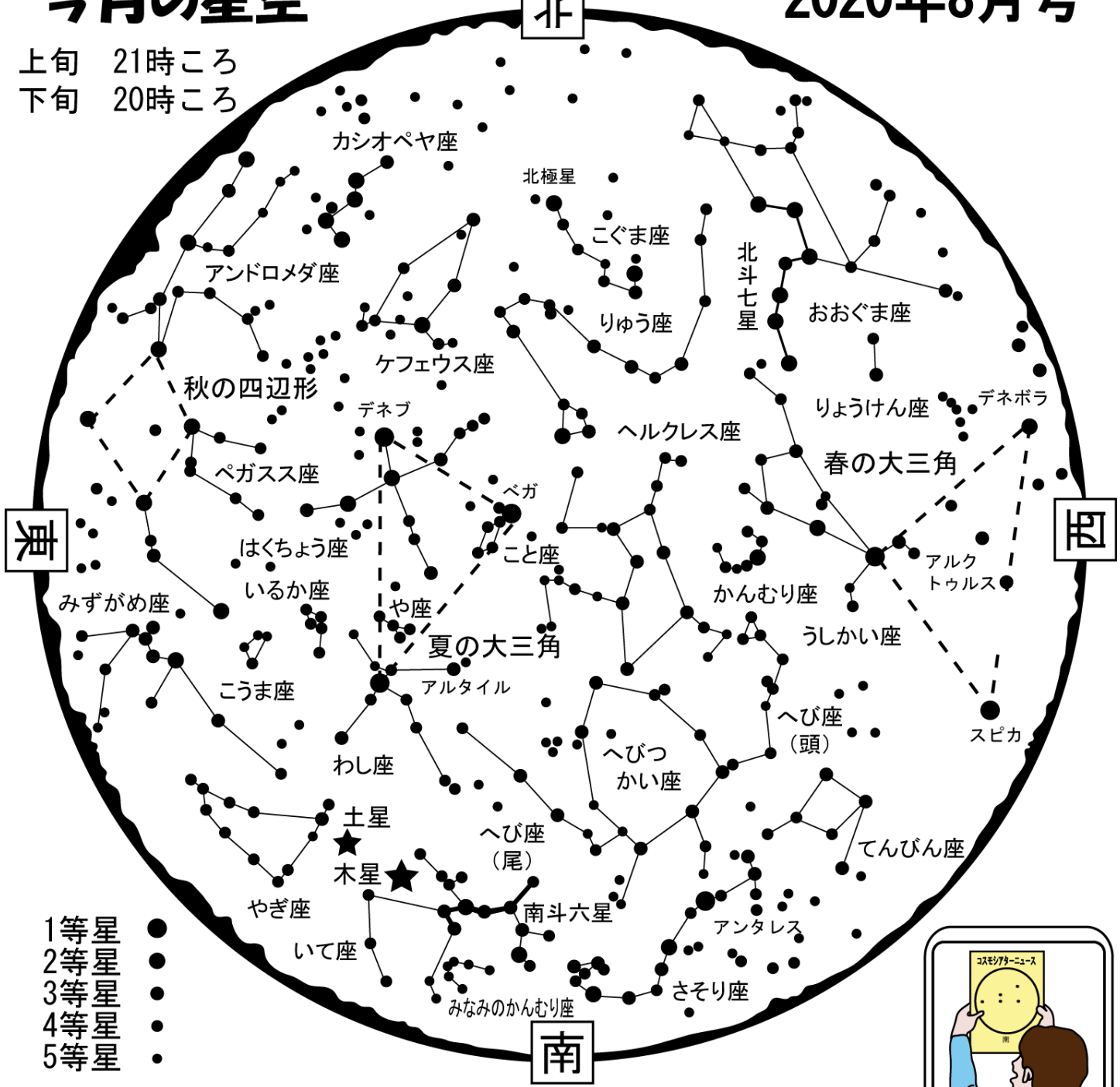


# コスモシアターニュース

## 今月の星空

## 2020年8月号

上旬 21時ころ  
下旬 20時ころ

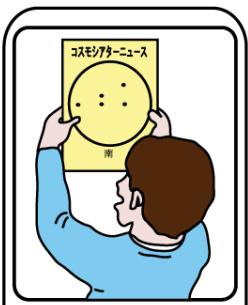


### 今月の惑星の動き

- 水星：5日ころまでの明け方、東の低い空に見えます。明るさは-1等星です。
- 金星：明け方、東の空に見えます。明るさは-4.5等星です。
- 火星：深夜、東の空に見えます。明るさは-1〜2等星です。
- 木星：夕方、南東の空に見えます。明るさは-3等星です。
- 土星：夕方、南東の空に見えます。明るさは0等星です。

### 今月の月の満ち欠け

満月：4日(火) 下弦：12日(水) 新月：19日(水) 上弦：26日(水)



自分の向いている方向を下にして、見てください

## 2日(日)、南東の空で、月と木星、土星が並んで輝く

2日(日)の20時ころ、南東の空にはほぼ満月の明るい月が輝いています。この月の右上を見ると、明るい星が見えます。この星が木星です。また月に戻って、左上を見ると、かなり近い所に星が見えるでしょう。こちらの星が土星になります。木星は大変明るく輝いているので、月の輝きにも負けません。土星は月が近く、木星より暗いので注意深く探してください。

## 8日(土)、真夜中、東の空で、月と火星が並んで輝く

8日(土)深夜、22時半ころ、東の空からほぼ半分欠けた月が昇ります。この月の右上を見ると、オレンジ色の明るい星が見えます。この星が火星になります。月が昇ったところは高さが低く、見つけにくい状態です。見やすいのは、9日(日)の午前0時以降になるでしょう。

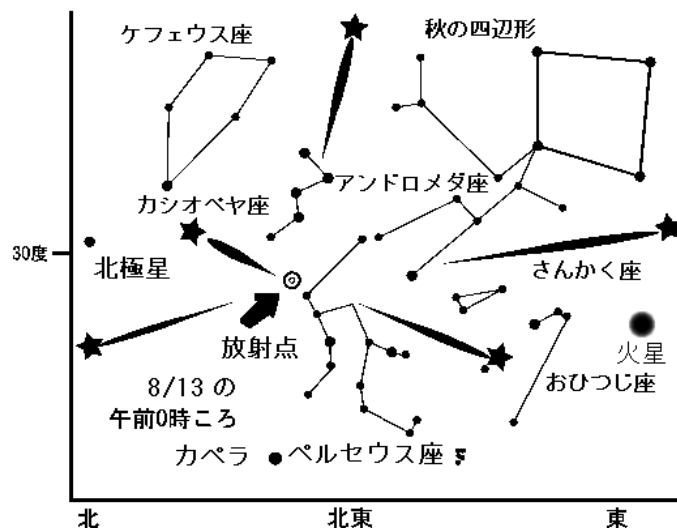
## 13日(木)、明け方、ペルセウス座流星群が極大

街明かりの少ない所で、夜空を眺めると、1時間に5個くらいの流星をいつも見ることができます。また、ある期間に、ある星座から、全天に放射状に流れていくたくさんの流星を見ることができます。このような流星は、群流星と呼ばれ、流れ始める起点(放射点)のある星座の名前をとって、何々座流星群と呼ばれます。

さて、放射点がペルセウス座にあるペルセウス座流星群は、12日(水)の深夜から13日(木)の未明に極大(いちばん多くなる時)となり、右の図のように流れます。ただし、ペルセウス座から流れるというわけではなく、ペルセウス座の方向から流れるように見えます。

今年は、真夜中ころにはほぼ半月の月が昇り、月明かりがあり、条件はあまりよくありません。ただ、明るい流星が多いこの流星群は、松山市内でもある程度の流星を見ることができます。

流星が多くなるのは、ペルセウス座が空高く昇る、12日の21時以降です。見ごろは、13日の午前0時ころから午前4時ころになります。このころは、松山市内では、1時間に10個程度の流星を見ることができるでしょう。そして、空の暗い郊外の場合、1時間あたり30個以上見えるようになります。なお、翌日の13日の深夜から14日(金)の未明も、ある程度の流星を見ることができます。



## 17日(月)、明け方、東の空で、月と金星が並んで輝く

17日(月)の明け方前の午前2時半ころ、細い月が東の空に昇ってきます。そして、この月に少し遅れて、左下に昇ってくる星が、明けの明星・金星です。ただし、午前3時ころまでは高さが低く、見やすくなるのは、午前4時ころになります。

## 29日(土)、南の空で、月と木星、土星が並んで輝く

今月2回目の月と木星、土星の接近です。見やすいのは20時ころです。このころ、南の空に明るい月が輝いています。この月の右上に見える明るい星が、木星です。また、月に戻って、左上に見える星が土星になります。天気が良ければ、コスモシアターの星空観望会で見ることができます。参加料は200円です。

## 天の川を見よう

7月~8月は天の川が最も見やすい時期です。天の川は、雲のようにぼんやりし、街の明かりがあると見えなくなってしまう。また、月が輝いている時も見えません。8月は、19日が新月ですので、この前後1週間程度が見ごろとなります。また、見やすい時間は、21時以降で、真夜中ころまで続きます。

人間の目は暗い所に行くと、すぐには暗闇に慣れません。ですから、明るい部屋の中から急に外に出ても、天の川が見えないのです。最低でも5分くらいは、夜空を眺めて下さい。すると見えなかった天の川も見えてきます。

右の図は、8月中旬の20時ころの様子です。雲のようにぼんやりとしたものが天の川です。実際の天の川は、南の空にある部分が一番明るく見えます。ちょうどさそり座のしっぽ方向です。そして、天の川をさかのぼって頭上を見ると、夏の大きな三角があります。空の暗い郊外で観察すると、カシオペア座まで天の川が続いているのが分かるでしょう。

